

第4章 計画の基本理念と目標

1 計画の基本理念

**高槻市に住むすべての人々が、夢を育み、
安心して暮らせる自治と共生のまちづくり**

地域福祉計画が福祉分野の上位計画として位置づけられ、高齢者福祉計画等との調和を図ることとされていることから、本計画は「第4次高槻市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念を共有します。この基本理念は、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創る「地域共生社会」を実現していくために掲げています。

高齢者一人ひとりが、いつまでも健康で、自らの能力を発揮し、活動的な毎日を送りつつ、価値観や生き方を尊重された自分らしさや夢を育み続けることができるよう、高齢者を含むすべての世代がお互いを支え合い、心が通い合う、やすらぎの社会の実現を目指して取り組んでいきます。

2 計画の目標～地域共生社会の実現に向けて～

(1) 地域包括ケアシステムの深化・推進

今後、高齢化が一層進展する中で、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムは、地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るものであるとともに、すべての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合う地域共生社会の実現が地域包括ケアシステムの目指す方向です。本計画においても、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいきます。

(2) 高齢者の自立と尊厳を支えるケア

ひとり暮らし高齢者の増加のほか、認知症の人や認知機能が低下した高齢者の増加が見込まれる中で、「高齢者の自立と尊厳を支えるケア」を確立することが重要となります。

要介護状態等になっても、自分の意思で自分らしい生活を営むことを可能とするため、高齢者等の意思決定支援や、権利擁護をはじめとした様々な施策について取組を推進します。

(3) 高齢者の社会参加と協働によるまちづくり

今後、生産年齢人口の減少が加速化する中で、地域の活性化のためには、高齢者が活躍するまちづくりをすすめる必要があります。

そのために、高齢者が自らの豊かな経験や知識を活かし、地域社会の支え手として、いきいきとした生活を送ることができる環境の整備に努めます。

(4) 健康寿命の延伸に向けた施策の推進

後期高齢者が増加すると予測されるなか、健康寿命(健康で日常生活が制限されることなく生活できる期間)のさらなる延伸に向けて、市民の主体性を重んじながら、健康に対する関心を高め、生活習慣病等の予防に関する取組や、高齢者の地域における社会参加の促進も含めた介護予防の活動等をさらに充実できるよう、事業の実施に努めます。

(5) 介護保険制度の安定した運営

いつでも必要なときに必要な介護サービスが提供されるためには、介護保険制度の安定した運営が必要となります。介護保険財政の健全性を確保するとともに、高齢者の自立支援、重度化防止等に視点をおいた適切なケアマネジメントを推進し、介護サービスの質の向上に取り組むことで、制度の持続可能性の向上に努めます。

